

インドモディ首相の独立記念日での演説 今後5年での世界3位の経済大国への躍進を強くコミット

2023年8月17日

👉 お伝えしたいポイント

- ・ モディ首相は今後5年での世界3位の経済大国への躍進を保証
- ・ 経済発展の好循環継続のために、来年の総選挙での国民の支持を呼び掛ける

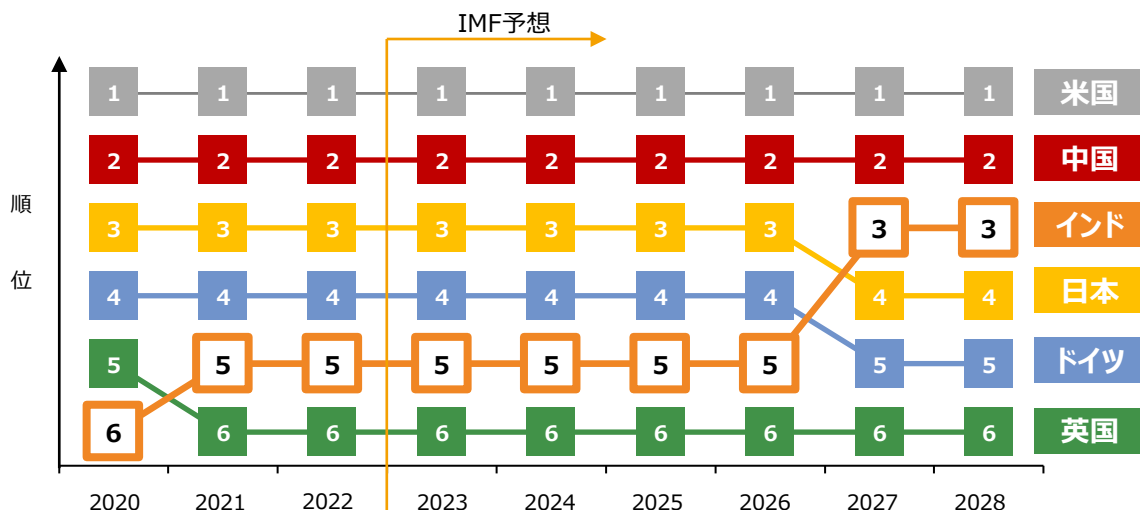
モディ首相は今後5年での世界3位の経済大国への躍進を保証

インドがイギリスからの独立後、76周年となる8月15日の独立記念日に、モディ首相は首都ニューデリーで開かれた記念式典で、90分にわたる演説を行いました。

演説で最も注目されるポイントは、モディ首相が「今後5年でインドの経済力を世界3位へ躍進させることを保証する」と語ったことです。IMFの4月の世界経済見通しによると【図表1】、インドの名目GDPは2021年にイギリスを超え5位に浮上し、さらに2027年にはドイツと日本を超え、世界3位の経済大国に躍進すると予想されています。今回のスピーチは、モディ首相が公の場でこの見通しの実現を強くコミットする形となりました。

また、モディ首相は「豊富な若年層労働力を有する人口動態、民主主義、多様性が三位一体となっていることは、インドのあらゆる夢を叶える可能性を秘めている」とし、昨年の独立記念日演説に続き、「2047年（独立100周年）までの先進国入り」に再び自信を示しました。

図表1 名目GDPランキング



(出所) IMF「世界経済見通し2023年4月」より大和アセット作成

経済発展の好循環継続のために、来年の総選挙での国民の支持を呼び掛ける

■ モディ首相在任期間中の屈指の成果は、経済成長の好循環実現

モディ首相の演説は、2014年の首相就任後の成果報告と、さらなる発展の約束で構成されました。

経済面での主要な成果としては、2期目の在任期間の5年間で1億3,500万人が貧困層から中間層へ脱出したことが挙げられました。中間層人口の増加は、購買力の向上、消費の拡大に繋がり、経済成長の好循環をもたらしました。特に直近2年は、世界の景気が不安定な中でも高成長を維持しているインドは際立つ存在となりました。その他、再生可能エネルギー分野での目標達成の前倒しなども言及されました。

■ 今後は、若年層の活躍や、国の近代化等に向けた取り組みを継続するとコミット

今後の経済面でのビジョンについては、世界最大の30歳以下の若年人口を有することをアピールした上で、世界トップ3のユニコーン企業数を有するなどの若者のテクノロジー面での強みを生かし、経済成長につなげる考えを示しました。さらに、【図表2】でまとめた国の近代化政策を実績として紹介し、今後でも取り組みを加速する方針を示しました。引き続き、高速鉄道や都市の地下鉄などのインフラ整備に注力し、さらに半導体生産や宇宙、深海などの先端技術分野に取り組むなどの野心的な方針を示しました。

演説終盤では2024年4-5月に総選挙を控えていることもあり、モディ首相は総選挙での国民の支持を呼び掛けました。現時点では、モディ首相への支持は盤石で、首相に再選される可能性が高いとみられるため、今後もインドでは経済発展の好循環が続くと期待されます。

■ 図表2 モディ政権が取り組んでいる国の近代化政策

演説で言及された主要政策
中規模の都市や農村地域のインフラ整備
再生可能エネルギーやグリーン水素産業への取り組み
高速列車「バンデ・バーラト」を含む鉄道網の近代化
農村部での道路やインターネット環境の整備
有機農業の強化
電気バスや都市鉄道（メトロ）の整備
半導体製造の誘致
宇宙分野での技術向上
深海探査

（出所）モディ首相の演説より大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。